

報道関係者各位

三次元立体画像、再生方式「遠山式立体表示法」が、 等身大立体ポスター「1/1 Scale Stereo Screen」に採用

株式会社バンダイナムコゲームス

社長：石川 祝男

本社：東京都大田区矢口 2-1-21

資本金：150億円

株式会社バンダイナムコゲームスの三次元立体画像の再生方式「遠山式立体表示法」の技術が、2006年11月1日(水)に発売予定の奥村印刷株式会社(本社：東京都北区 代表取締役社長 奥村文泰)と、株式会社トイボックス(本社：大阪市北区 代表取締役 小林芳文)が企画制作した新商品の等身大アイドル立体ポスター「1/1 Scale Stereo Screen」(税込11,550円)に採用されることになりました。



ポスター イメージ画像
山崎真実



ポスター イメージ画像
大久保麻梨子

「遠山式立体表示法」は、立体感に優れた自然な画像の再生が可能なため、等身大に大判印刷されたポスターを赤青眼鏡で覗くと、まるで本人が目の前にいるかのように見えます。

本ポスターは、企画第一弾として、TVやグラビア等で人気のアイドル、「山崎真実」「大久保麻梨子」の二名を起用し、各2,000枚限定で2006年11月1日(水)より「トイボックス」等のウェブサイトでの通信販売や、全国にある「デジタルフォトスタジオPix-Do」の店舗にて発売されます。また第二弾として、トップアイドル「ほしのあき」の起用が決定しています。

【遠山式立体表示法とは】

バンダイナムコゲームスが開発した三次元立体画像の再生方式です。立体感に優れた自然な三次元立体画像の再生ができるのが特徴で、2003年7月の発表以来、雑誌付録やポスターブック、写真週刊誌などの様々な媒体に採用されています。また、アナグリフ方式(赤青眼鏡式)のほかにも、レンチキュラ方式、時分割シャッター方式などの立体画像に対応しているため、印刷物に限らず幅広い用途に期待できる技術です。



今後もバンダイナムコゲームスでは、「遠山式立体表示法」の驚きと楽しさを伝えるべく、新たな可能性に向けてビジネスを展開してまいります。

プレスリリースの情報は、発表日現在のものです。発表後予告なしに内容が変更されることがあります。あらかじめご了承ください。